

	信州大学 理学分野
学部等の教育研究 組織の名称	理学部（第1年次:210 第3年次:10） 大学院理工学系研究科（M:434） 大学院総合工学系研究科（D:49）
沿 革	大正8（1919）年 旧制松本高等学校設置 昭和24（1949）年 新制信州大学文理学部設置 昭和41（1966）年 文理学部を改組し、理学部を設置 昭和51（1976）年 大学院理学研究科修士課程設置 平成10（1998）年 大学院理学研究科を改組し、大学院工学系研究科へ 統合 平成17（2005）年 大学院総合工学系研究科設置 平成24（2012）年 大学院理工学系研究科設置
設置目的等	<p>大正8年、信州大学理学部の母体である松本高等学校は、旧制大学への進学のための高等教育の実施を目的として設置された。</p> <p>昭和24年、学制改革による信州大学発足に当たり旧制松本高校を前身として、人文科学、社会科学、自然科学の各分野にわたる総合的な教授及び研究に重きをおき広い基盤に立つ専門教育を与えることを目的に信州大学文理学部として継承された。</p> <p>昭和41年、法律第48号国立学校設置法の一部を改正する法律により文理学部を改組し、信州大学理学部が設置された。</p> <p>昭和51年、科学技術の発展にともない、学部における自然科学の一般的及び専門的教養の基礎の上に、広い視野に立って清深な学識を修得させることを目的に理学研究科修士課程が設置された。</p> <p>平成10（1998）年、独創性のある研究開発、地域社会の貢献を通じて、環境と調和した社会及び産業の発展に寄与することを目的として工学部・繊維学部を主体とする工学系研究科と、基礎研究を中心とした理学研究科を統合し、工学系研究科修士課程・博士課程が設置された。</p> <p>平成17年、基礎科学と応用科学が有機的に関連した総合的な科学研究を行い、世界的レベルの基盤技術開発を推進すると共に、地域・産学官連携研究を積極的に進め、これらの研究成果を社会に還元することと21世紀における新たな産業創成の中核を担う高度専門職業人を社会に輩出することを目的に、農学系分野を新たに加え総合工学系研究科博士課程が設置された。これに伴い、修士課程として工学系研究</p>

	<p>科が設置された。</p> <p>平成24年、質の高い教育研究を展開し、独創的な学術研究を推進するとともに、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者、高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人及び知識基盤社会を多様に支える高度で知的な素養のある人材を養成し、もって科学技術の進歩と地域社会、国際社会に貢献することを目的に、工学系研究科修士課程を改組し、理工学系研究科修士課程が設置された。</p>
<p>強みや特色、社会的な役割</p>	<p>信州大学においては、信州の豊かな自然と文化の中で、自然環境の保全、新しい学術・文化の創造、人々の健康と福祉の向上、地域及び全国の産業の育成と活性化を目指して教育研究に取り組んでいる。理学分野では、グリーン・サイエンス（環境に負荷をかけない持続的発展の可能な社会を支える基盤的科学技術とフィールドワークを中心とした自然環境の診断と保全についての科学技術を両輪とする教育研究）の考え方に基づき、教育、研究、社会貢献に取り組んできたところであり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グリーン・サイエンスの考え方に基づいた教育研究を実践し、環境問題等に柔軟に対応できる高度な専門人材の育成の役割を果たす。理学分野の先端科学技術を開拓できる独創的研究能力、国際社会において持続的発展の可能な社会をリードできる高度な研究能力を有する環境マインドをもった先導的な人材育成の役割を果たす。 ○ 能動的学習意欲をもつ理数学生の発掘と育成プログラム、環境マインドを持つ人材の養成プログラム、海外大学とのダブルディグリーやJABEEを利用した国際通用性のあるプログラムなどの特色ある教育改革を進めてきた実績を生かし、グローバルにも活躍できる人材育成を目指した教育プログラムの再編成とそれを実現する教育組織の不断の改善・充実を図る。 ○ 代数学や幾何学を中心とする基礎数学や質的に世界トップクラスの高エネルギー物理学を中心とする基礎物理学、電気化学や物理化学を中心とする基礎化学、環境科学、信州発の新しい学問領域である山岳科学などグリーン・サイエンスの研究実績を生かした理学諸分野の研究を推進し、地域社会の発展や我が国の理学の発展に寄与する。 ○ 山岳・環境科学の資料の他研究機関等への提供、長野県下のスーパーサイエンスハイスクール指定校及び理数科設置高校との連携

	<p>事業をはじめとする高校生や理数教員が行う活動への支援、自然シリーズや青少年のための科学の祭典等の地域住民向け科学フェスティバルの実施など、産業界や地域社会等に貢献してきたこれまでの実績を生かし、学術の進展や地域の知識社会化の推進に寄与する。</p> <p>○ 大学院への社会人受入れ促進、自然環境診断マイスター養成等の社会人学び直し事業の実績を生かし、行政機関・教育界・産業界の高度化・活性化に寄与する。</p>
--	---